



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

FACULTY OF HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES

人文社会学部 2020

- ▶ 国際法政学科
- ▶ 人間社会学科
- ▶ 琉球アジア文化学科

未知の領域を拓く
知と創造力で



琉球大学 人文社会学部 2020

国際法政学科・人間社会学科・琉球アジア文化学科

交通案内

空港 → 琉球大学

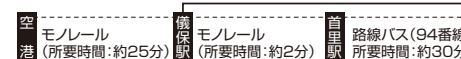
■ 高速バス (1時間に1、2本程度 / 所要時間: 40分)

111 番線 (琉球バス・沖縄バス・那覇バス・東陽バスの4社が交互運転)

113 番線 123 番線 (琉球バス)  空港 → 沖縄自動車道 → 琉大入口下車
(琉大入口にて下車、琉大北口経由徒歩で約15分)

■ モノレール

路線バス (97 番線 所要時間: 約40分)

 空港 → モノレール (所要時間: 約25分) → 首里駅 → モノレール (所要時間: 約2分) → 首里駅 → 路線バス (94 番線 所要時間: 約30分) → 琉球大学

モノレール首里駅 → 琉球大学

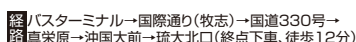
■ 路線バス

琉大北口方面 94 番線  首里駅前 → 汀良三丁目 → 城東小学校前 → 石嶺二丁目 → 柳原 → キリスト教短大入口 → 琉大附属病院前 → 琉大附属小学校 → 琉大法文学部前 (下車、徒歩1分)

バスターミナル → 琉球大学

■ 路線バス (各20～40分に1本程度 / 所要時間: 97 番 → 約60分 98 番 → 約50分)

琉大東・北口方面 97 番線  経 バスターミナル → 国際通り (牧志) → 備保 (首里) → 琉大附属病院 → 琉大東口 (下車、徒歩5分)

琉大北口方面 98 番線  経 バスターミナル → 国際通り (牧志) → 国道330号 → 眞栄米原 → 冲国大前 → 琉大北口 (終点下車、徒歩12分)



「人文社会学部」に関するお問合せ

人文社会学部 学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL (098) 895-8188 FAX (098) 895-8187

「人文社会学部」に関連する最新情報は、琉球大学人文社会学部のホームページ
(<http://www.hs.u-ryukyu.ac.jp/>) でご確認ください。



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

学部長メッセージ



人文社会学部長
安藤 由美

人文社会学部は、私たち人間や地域社会、あるいは国際社会が抱える課題、その歴史や文化、そしてそもそも人間の精神・心とは何か、こういった問題に興味のあるあなたにふさわしい学部です。私たちスタッフは、そんなあなたのために、法学、政治・国際関係学、哲学・教育学、心理学、社会学、琉球とアジアを中心とする歴史・民俗学、言語学、文学など、多彩なプログラムを準備して皆さんをお待ちしています。

大学では、与えられた問題にひたすら解答したり、その解き方をひとり暗記したりするよりも、そもそも問題を自ら立て、それへの解を、ときには仲間と協働しながら見出していくような学びが主になります。人文社会学部では、学生の皆さんがこのような学びを深め、未来を構想し、それを社会に向けて発信する力を4年間で十分に養えるよう、全力でサポートします。

国際法政学科
P3 ▶

人間社会学科
P5 ▶

琉球アジア文化学科
P7 ▶

人文社会学部の教育研究上の目的

人文社会系の専門的、学際的分野において真理を探究し、それを基に、個人の尊厳と基本的人権を尊重する平和・共生社会の形成者、社会全体の持続的発展に寄与する人材を育成します。

アドミッションポリシー（求める学生像）

- 知識・技能… 大学における人文社会分野の学びの土台となる高校での学習内容に関する基礎的な力を有する人
- 思考力・判断力・表現力… 答えが一つに定まらない問題に自ら解を見出していく基礎的な力を有する人
- 主体性・協働性… 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度・スキルを有する人
- 目的意識… 人文社会学部の学問分野に対する強い関心と学びの意欲を有する人

学科・プログラム別募集人員

学 科	プログラム	入学定員	一般入試		特別入試		私費外国人	3年次特別編入
			前期日程	後期日程	推薦入試Ⅱ	帰国子女		
国際法政学科	法学プログラム	80名	54名	14名	12名	若干名	若干名	4名 ※注1
	政治・国際関係学プログラム							
人間社会学科	哲学・教育学プログラム	80名	41名	18名	5名	若干名	若干名	4名
	心理学プログラム				8名			
	社会学プログラム				8名			
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	40名	25名	9名	6名	若干名	若干名	2名
	言語学プログラム							
	文学プログラム							

人文社会学部は、国際法政学科、人間社会学科、琉球アジア文化学科の3学科のもと、法学プログラム、政治・国際関係学プログラム、哲学・教育学プログラム、心理学プログラム、社会学プログラム、歴史・民俗学プログラム、言語学プログラム、文学プログラムの8プログラムで構成されています。

※人間社会学科の推薦入試Ⅱは、各プログラム別で募集を行います。
※大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目等、より詳細な情報は、「入学者選抜要項」に記載がありますので、受験される方は必ずご確認ください。
※注1 国際法政学科の学力検査等は志望プログラム毎に行います。プログラム毎の目安人数は次のとおりです。
法学プログラム：2名、政治・国際関係学プログラム：2名

各プログラムへの配属について

各学科単位で募集を行い、1年次は合格した学科に所属します。1年次後学期を終了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づき右記の8つの各プログラムに配属を決定します。（全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。）

※右記人数は、受入人数の目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。

学 科	プログラム	受入人数
国際法政学科	法学プログラム	40名
	政治・国際関係学プログラム	40名
人間社会学科	哲学・教育学プログラム	18名
	心理学プログラム	30名
琉球アジア文化学科	社会学プログラム	32名
	歴史・民俗学プログラム	14名
	言語学プログラム	13名
	文学プログラム	13名

教育カリキュラムの構成

			1年次	2年次	3年次	4年次	卒業（進学・就職）
共通教育科目			教養領域（人文系科目、社会系科目、自然系科目、健康運動系科目） 総合領域（総合科目、琉大特色・地域創生科目、キャリア関係科目） 基幹領域（情報関係科目、外国語科目）				
			平和共生・沖縄理解科目群 ※上記から科目指定				
専門教育科目	学部共通科目	学部共通基盤科目	基礎演習Ⅰ （大学生基礎力）▶	基礎演習Ⅱ （最適解導出力育成）▶	基礎演習Ⅲ （平和共生・沖縄理解）▶		
			平和共生・沖縄理解基盤科目				
			キャリア形成科目				
	国際法政学科 法学プログラム 政治・国際関係学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目				
		プログラム専門科目		基盤科目 ▶ 発展科目			
	人間社会学科 哲学・教育学プログラム 心理学プログラム 社会学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目				
		プログラム専門科目	コア基盤科目 ▶ コア発展科目 ▶ 発展科目				
	琉球アジア文化学科 歴史・民俗学プログラム 文学プログラム 言語学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目				
		プログラム専門科目	コア基盤科目 ▶ コア発展科目 ▶ 発展科目				

1 「共通教育科目」の履修

1～2年次を中心に、全学共通の共通教育科目を履修することによって、文系・理系の知にバランスよく触れ、外国語科目の履修によって国際性を身につけます。人文社会学部の共通教育における特徴は、「平和共生・沖縄理解」に関係する科目を指定し、6単位以上を修得することです。これにより、平和共生・沖縄理解に関する文系・理系の知を修得します。

2 「学部共通科目」の履修

学部共通科目のうち「学部共通基盤科目」は、「基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）」が1年次前期の配当で、大学生としての学びの基礎を修得します。「基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）」では、課題解決における最適解の導出についてその基礎を学修し、次に「基礎演習Ⅲ（平和共生・沖縄理解）」を履修し沖縄と平和、共生について学修します。いずれも必修科目で、1年前期から2年後期の間の配当となります。

「平和共生・沖縄理解」に関しては、学部の共通科目としても「平和共生・沖縄理解基盤科目」を設定し、各プログラムの学問分野と関連付けながら、平和共生・沖縄理解について基盤となる知を修得します。

3 「学科共通科目」の履修

学科共通科目は、学科基盤科目と学科発展科目とからなります。これらの科目を順次履修することによって、学科の共通の基盤となる知を身につけ、さらにその知を発展させます。

4 「プログラム専門科目」の履修

プログラム専門科目は「プログラムコア基盤科目」、「プログラムコア発展科目」及び「プログラム発展科目」です。（※国際法政学科は「プログラム基盤科目」と「プログラム発展科目」）。これらの科目を順次履修することによって、学部共通科目や学科共通科目で培った知を基に、演習形式におけるアクティブ・ラーニングによって、専門的な学びを学年が進むとともに深め、卒業論文を完成させます。（法学プログラムは選択）。

■ 学科概要

1. 学科の教育理念・目的

国際法政学科は、法学・政治学・国際関係学に関する専門的知識を学び、豊かな学際的知を形成しながら、多様な社会との共生のあり方や持続的発展のための政策提言・発信力、及び平和共生社会を構築できる実践力を持つ人材の輩出を目指しています。そのため、当学科は、法学プログラムと政治・国際関係学プログラムから構成され、法学・政治学・国際関係学をバランスよく学べるカリキュラムを設けています。さらに、弁護士など法曹職を目指す学生向けに、法科大学院との「LS進学等特修クラス」を開講します。

2. 求める学生像

法学・政治学・国際関係学などを中心とする社会科学分野の学問を土台として、現代社会における諸問題を総合的かつ体系的にとらえて、問題の本質を見極め、その解決策などを研究していきます。そのため、当学科は、①人間社会や社会科学への深い関心、②柔軟かつ総合的な思考力、③主体的に学ぶ意欲を持った人材を求めています。

3. 育成する人材像

法学・政治学・国際関係学の学びを通して、リーガル・マインドを持ちつつ政治や行政、国際関係に精通する人材を養成し、地方・国家公務員、マスコミ、法曹、国際公務員、企業の国際職など高度専門職につける人材を輩出することを目指します。

■ 留学について

琉球大学と提携している世界中の各大学へと交換留学することが可能です。この制度を利用して、これまで、ハワイ大学（米国）、延世大学（韓国）、福建師範大学（中国）、国立台湾大学などに留学しています。また、学科独自の授業として、短期の海外研修（ハワイ、ソウル、東南アジア）科目も展開しています。



1年次研修(県議会)



海外研修(ベトナム)



海外研修(米国ハワイ)



海外研修(韓国ソウル)

■ 主要科目

憲法・民法・刑法・商法・刑事手続と人権・民事手続法・国際法・行政法・社会保障法・労働法・刑事政策・LS進学等特修クラス・政治思想史・政治過程論・行政学・地方自治論・公共政策学・国際政治学・日本政治外交史・国際関係史・国際社会学・比較政治学

■ 想定する進路(※過去の実績に基づき抜粋)

【国家・地方公務員】

沖縄県庁、内閣府、国税庁、入国管理局、市役所・村役場、沖縄県警、那覇地方裁判所、琉球大学(事務)など

【マスコミ】

NHK、共同通信、琉球新報、沖縄タイムス、琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送、朝日新聞など

【民間企業】

琉球銀行、沖縄銀行、沖縄開発金融公庫、大同火災海上保険、沖縄電力、JAL、JTA、ANA、サンエー、日本郵便、JTB 沖縄、沖縄ゼロックスなど

【大学院進学】

琉球大学、東京大学、京都大学、大阪大学、早稲田大学、一橋大、東北大、ロンドン大、ハワイ大学など

■ 取得可能な資格

学芸員

樋口一彦先生のメッセージ



法学の勉強は、最初、面白くないと感じるでしょう。法は人間社会の規範体系であって、一つの原理で矛盾なく突き通すような純粋さは、存在しません。「諸般の要素を勘案し、結果の妥当性を考慮しつつ、社会通念上適正と思われる結論をもって答えとする」というような思考方法に、若い人が魅力を感じることはないでしょう。しかし、社会人としての経験を積んだ人にとっては、一つの「正義」でもって答えを出すということは、現実経験から、不可能であり、また危険であって、「対立する全ての利害関係者がみんな不満を持つような結論が、最良の妥協案である」という思考が可能になってきます。無味乾燥に思える法学の中から生身の人間を発見し、そしてその集合体である社会の行動原理に面白さを見出すようになれば、法学に興味を持つことができると思います。

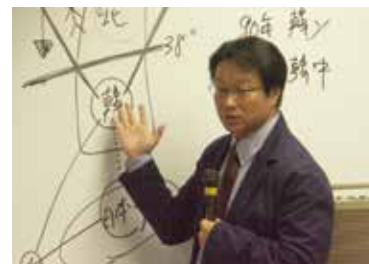
教員一覧

樋口 一彦	教 授	国際法
徳田 博人	教 授	行政法
森川 恭剛	教 授	刑法
高田 清恵	教 授	社会保障法
三浦 毅	准教授	民事手続法
戸谷 義治	准教授	労働法
菅谷 元彦	講 師	民法
一藁 幸	講 師	民法



授業風景

金成浩先生のメッセージ



他の地方自治体と比較して沖縄県が抱える諸問題は国際関係と連動している側面が強いと言えます。

例えば、沖縄県の基地問題は、北朝鮮の核開発、中国と台湾の統一問題、米国のアフガン・イラク戦争の展開等と連関します。そのため、日本のみならず、国際関係からも状況を分析することが迫られます。

さらには、米国・中国・朝鮮半島・ロシアなどの等身大の姿を知ることで、沖縄をめぐる諸問題についてさらに深く把握できるようになることでしょう。

本プログラムでは、沖縄・日本政治のみならず、東アジア国際関係なども学びながら、「平和」をキーワードに、沖縄・日本・世界が抱える諸問題の解決方法を多面的に考察していきます。

教員一覧

金 成浩	教 授	国際関係史、平和研究、ロシアを含む東アジア国際関係研究
阿部 小涼	教 授	国際社会学、社会運動論、比較社会文化論
柳 至	准教授	行政学、地方自治論
久保 慶明	准教授	政治過程論、公共政策学
二宮 元	准教授	比較政治学、福祉国家論
萩原 淳	准教授	日本政治外交史
山本 章子	講 師	国際政治学

主なゼミでの学習テーマ

- 民法改正を考える
- 民事裁判における手続保障
- 退職をめぐる問題
- 職場におけるいじめ
- 憲法と生活ー
- ニュースから考える憲法
- 戦後沖縄の刑事法制
- 辺野古裁判と地方自治
- 行政処分の職権取消と撤回
- 医療保障と医療制度改革
- 生活保護をめぐる問題
- 社会科学総合研究
- 民事法総合研究
- 不法行為法制



台湾研修

主な卒業論文のテーマ

- 沖縄戦の追憶物
- 沖縄の貧困問題:要因検討と今後の展開
- 選挙立候補者に対するメディアの報道姿勢と得票数の関係
- 地方自治体の平和事業の実態と平和意識の変化
- 米軍統治下における医療保険制度
- 日本の対米開戦決定:官僚政治モデルによる分析
- なぜ沖縄は犬猫殺処分が多いのか
- ソフト・パワーを再検討する:ソーシャル・キャピタルから生まれる平和的外交政策



授業風景

■学科概要

1. 学科の教育理念・目的

【学科共通】現代は、社会や自然の急激な変化や価値観の多様化の中で、人間をとりまく諸問題がいっそう複雑になっています。こうしたなかで、経済や科学技術、環境問題などに関する地球規模での人類の連帯の必要性和ともに、地域・民族・文化・思想・伝統の多様性の認識が重要なテーマとなってきました。そして人間の心のあり方や人間らしい生き方、人間集団としての社会のあり方そのものが大きく問われています。人間社会学科では、人間を中心に据えながら、人類が直面する問題を社会・文化・地域・環境といった多角的な視点から探求し、幅広い知識と寛容の精神を持って時代の創造者になるような人材の育成を目指しています。

【哲学・教育学プログラム】哲学・教育学プログラムには哲学と教育学のコースがあります。哲学コースでは、生と死、人間・世界、知、環境、生命、科学技術等について、文献読解や討論を通じて原理的・本質的な探究を行い、同時に現実との具体的な関わりについても研究します。教育学コースでは、専任教員の専門である教育社会学を中心にしつつも、教育学部などの教育学関係の教員の協力も得ながら、多様な視点から教育に関わる諸問題にアプローチしていきます。

【心理学プログラム】心理学プログラムでは、心理学の基礎的分野から応用的分野まで幅広くカリキュラムが提供されており、包括的に心理学を理解してもらうことができます。また実験などを体験的に学ぶことで、科学的な方法論やデータ分析、さらには報告の仕方まで、心理学のみならず社会で活用できる能力も身につけることができます。

【社会学プログラム】社会学プログラムでは、社会学・福祉学・マスコミ学の3つのコースを軸としながら、人間と社会・地域との関係や問題を探っています。少人数教育のメリットを活かし、社会調査実習、福祉施設や相談機関での実習(社会福祉士資格関連)、新聞やTV 番組制作実習などの実習科目に力を入れているのが特徴です。また、アジアからの留学生を多く受け入れ、国際交流を活発に行っています。平和問題や多文化共生など、沖縄ならではのテーマを十分に学習できる点も、社会学プログラムの魅力のひとつです。

2. 求める学生像

思想・教育・心・社会に強い関心を持ち、多面的な観点から物事を考察し自分なりの意見をまとめることができ、市民社会の発展や生活問題の解決にも貢献できる人を求めています。

3. 育成する人材像

人間科学に関する専門的な知と幅広い学際的知を基に、個人の尊厳を保ち、誰もが自由・公平に、また安心・安全に生きられる社会を形成できる人材を養成します。

■留学について

琉球大学と協定を提携している世界中の各大学に留学することが可能で、この制度を利用して、これまで(旧・法文学部時代)に、デュッセルドルフ大学、ハワイ大学ヒロ校、コンケン大学(タイ)などで学んだ学生がいます。また、文部科学省と民間企業とで運営する「トビタテ! 留学JAPAN」を利用した学生もいます。

寺石悦章先生のメッセージ



みなさんはテツガクって、どんなものだと思っていますか。「わかりきっていることを、わざと難しく表現すること」なんて悪口を言う人もいます。私はそれを否定したいのですが、本屋や図書館に並ぶ哲学の本を手にとると「それも否定できないな」という気持ちになります。たしかに、難しい本が多すぎますね。でもそれは「表現が下手」ということではあっても、テツガクに価値がないとか、役に立たないということではないはずです。私は、テツガクに初めて出会った皆さんには「テツガクとは考えること」だと説明しています。「それじゃあ説明になってない」「もっと詳しく」と言われれば、「常識・慣習・権威・文化・伝統…にとらわれずに考えること」だと説明します。これって意外に難しいことです。というか、日常ではほとんど不可能だと言ってもいい。私たちの考え方は、社会の常識・慣習…に気づかないうちに染まってしまうからです。ですからテツガクとは「常識・慣習…との闘い」だと言えなくもありません。「そこまでして考えたくない」「めんどくさそう」と思う人もいそうですね。でも本当に大切な問題に出会ったら、常識をそのまま自分の答えにすることで、あなたは満足できますか? 本当に大切な問題について、一緒に考えていきましょう。

教員一覧

長谷川 裕 教 授 教育社会学(現代日本の教育と社会の関係)
寺石 悦章 教 授 哲学、人間学、宗教思想、東洋思想
久高 将晃 教 授 現代ドイツ哲学、倫理学
吉満 昭宏 准教授 現代英米哲学、非古典論理学

◆想定する進路

大学院進学、公務(県市町村の役所の職員、警察官)、民間企業(金融、製造、情報通信、サービスなど)、高校教員

◆取得可能な資格

高等学校教諭1種免許状(公民)



合同ゼミの風景

草野智洋先生のメッセージ



高校生のみなさんは「何のために勉強しないといけないのか?」と考えることはないでしょうか? もしも勉強が「大学に合格するため」だとしたら、では何のために大学に行くのでしょうか? そんなことばかり言っていると「黙って勉強しなさい!」と怒られるかもしれませんが、意味を見いだせないことにはやる気がおきない、というのは人間の心の反応としてごく自然なことです。

私が専門にしているロゴセラピーとは、人が生きることの意味を見出すことを援助する心理療法です。ロゴセラピーに限らず、大学に入って心理学や哲学など様々な学問を学ぶことによって、学ぶことや働くことや生きることの(自分自身にとっての)意味を見つけられると思います。意味を見つけて、豊かな人生を送りましょう!

教員一覧

遠藤 光男 教 授 認知心理学、視覚情報処理
畠中 雄平 教 授 臨床心理学、児童精神医学、発達障害
田中 寛二 准教授 臨床心理学、加害者臨床、カウンセリング
伊藤 義徳 准教授 臨床心理学、認知行動療法、マインドフルネス
高良 美樹 准教授 社会心理学、アイデンティティ
草野 智洋 准教授 臨床心理学、ロゴセラピー、引きこもり支援
(新任) 社会心理学(予定)

渡久山清美先生のメッセージ



私は、ジャーナリズム学の地域平和への貢献をテーマに研究を進めています。米国の新聞や雑誌において沖縄に関連する事柄がどのように報道されているかを分析し、誤解を招く表現や補足すべき事実を示すとともに、沖縄で起こっている問題を沖縄内外の人たちに理解してもらうための有効な方法を模索しています。

また、授業では、国内外の食や環境問題、差別についても、英文記事や映像メディアを活用しながら、地域平和の貢献に役立つ知見を深めるよう学生に伝えています。偽情報や誤情報が氾濫する中、マスコミ学コースの新聞制作やドキュメンタリー制作実習を通して、正確な情報を得るための考え方や、情報を発信する際に必要な倫理観とともに身につけていきませんか?

教員一覧

安藤 由美 教 授 社会学(個人の人生、家族、社会の関わり方の調査・研究)
鈴木 規之 教 授 国際社会学(タイ・ラオス、沖縄のグローバル化)
鈴木 良 准教授 障害学(知的障害者の脱施設化と地域生活支援のあり方)
渡久山 清美 講 師 ジャーナリズム論(沖縄関連報道の調査・研究)
野入 直美 准教授 比較社会学(移動、境界、マイノリティ、共生)
比嘉 要 准教授 マス・コミュニケーション学(メディアの社会的影響)
水野 良也 教 授 社会福祉学(グループを活用した福祉的援助)
本村 真 教 授 社会福祉学(人を支援するための有効な方法)
田中 将太 講 師 社会福祉学(NPOによる福祉サービスと中間支援)

◆想定する進路

大学院進学、国家公務員(一般職、家庭裁判所調査官、法務教官、法務技官など)、地方公務員(一般職、心理職等)、民間企業(金融、製造、情報通信、サービス、大学事務など)、心理専門職

【指定大学院修了後】

(教育相談員、病院心理士、スクールカウンセラーなど)

◆取得可能な資格

高等学校教諭1種免許状(公民) 認定心理士

◆受験資格が得られるもの

公認心理師(卒業後に、実務経験、または、大学院進学が必要)



心理学実験の風景

◆想定する進路

大学院進学、沖縄県やその他の官公庁(一般行政職や福祉職等)、沖縄県・市町村社会福祉協議会、病院、施設、相談機関、県内外マスコミ、民間企業(金融、運輸、流通、情報通信など)

◆取得可能な資格

高等学校教諭1種免許状(公民)

◆受験資格が得られるもの

社会福祉士



マスコミ学コース学生による新聞制作実習風景

■学科概要

1. 学科の教育理念・目的

【学科共通】本学科では、琉球・沖縄、日本、朝鮮半島、中国・台湾を、歴史、民俗、言語、文学を通じて多角的に、総合的に学びます。これらの地域は歴史的にも、現在も相互に影響を及ぼしあっています。地域研究を中心としつつ、他地域とのつながりも研究しています。教育・研究を通して、資料(史料)・情報を収集する能力を身につけ、根拠ある主張を論理的に展開できる人材を育成したいと思っています。沖縄・琉球をはじめとする地域社会や文化を理解し、その継承発展に貢献したいと考えています。

【歴史・民俗プログラム】琉球・沖縄や日本、中国・台湾、朝鮮半島を中心とした地域の歴史・民俗学に関する研究をします。専門知識を深めていくなかで、地域社会と国際的な場で琉球・沖縄及び日本・アジアを積極的に発信する人材を育成することを目指しています。

【言語学プログラム】琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の言語学に関する研究をします。文化の基盤となる言葉の理解を通して、異なる文化背景を持つ人々とコミュニケーションする能力を身につけます。

【文学プログラム】琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の文学に関する研究をします。文化や文学を深く読み解くことを通して、異なる文化背景を持つ人々と平和的に共生していく能力の育成を目指しています。

2. 求める学生像

本学科では、次のような人に入學し、学んで欲しいと思っています。

- (1) 琉球・沖縄、日本、中国・台湾、朝鮮半島の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲をもっている人
- (2) こうした地域の違いと類似性に目を向けつつ、主体的・積極的に研究できる人
- (3) 社会・文化の発信や継承・発展に寄与することができる人

3. 育成する人材像

本学科は、琉球・沖縄、日本、中国・台湾、朝鮮半島の歴史・民俗、言語、文学に関わる学問を教授します。そして教育・研究を通して以下の人材を育成することを目標としています。

- (1) 資料(史料)・情報を収集する能力を身につけた人材
- (2) 資料(史料)・や情報の整理・分析を通して、根拠にもとづいた主張を展開できる人材
- (3) 成果をまとめ、論理的で説得力のある説明ができる人材
- (4) 他者との意見交換を通して、多様な見解や価値観を受け入れ、柔軟に修正・改善する姿勢を持つ人材

■留学について

【留学体験】

国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻 中山 怜美
私は三年次の時に台湾にある中山大学に交換留学生として一年間派遣されました。この一年を通して私が成長できたと感じる部分は本当に多く、言語面だけでなく積極性や忍耐力など精神面等も鍛える事ができました。また台湾の人々の温かさや文化は留学なしでは知る事はできなかったでしょう。特に私が実感した事は自分から行動を起こさない限りチャンスは掴めない、そして一つ何かチャンスを掴む事ができれば次の機会も得やすくなるという事です。大学時代に留学を経験する事で自分の人生をより一層充実したものにできると思います。

■想定する進路

公務員、大学院進学、マスコミ、出版社、金融業・保険業、生活関連サービス業、郵便業、宿泊業、製造業、情報通信業、教育・学習支援業

■取得可能な資格・免許

免許: 中学校教諭一種免許(国語)、高等学校教諭一種免許(国語)
資格: 博物館学芸員

中村春菜先生の個人研究



「沖縄らしい料理」と聞いて、何を思い浮かべるでしょうか？ サーターアンダギー？ ちんすこう？ 角煮(ラフテー)？ 2019年5月、文化庁は「琉球料理、泡盛、芸能」を日本遺産として認定しました。しかしながら、先に挙げた例はいずれも、もとは中国の宮廷料理でした。琉球王国時代に中国から派遣された冊封使節団をもてなすために、琉球人が料理を学びました。その技法は現在にも引き継がれ、今では沖縄らしさを代表する物となっています。周囲を見渡せば、沖縄の中に実に多くの中国・東南アジアと交流していた頃の痕跡が見つかります。「沖縄らしさ」の中に秘められた中琉関係史、一緒に探して深く学びませんか？

教員一覧

豊見山 和行	教 授	琉球史
大濱 郁子	准教授	沖縄近現代史
中村 春菜	講 師	中琉関係史
高橋 そよ	准教授	琉球民俗学



沖縄のシーサーの由来 金門島の風獅子



台湾日本統治時代の建物

金城ひろみ先生の個人研究



私の専門である「中国語学」とは、中国語を音声・語彙・文法等の面から言語の本質に迫る学問です。また私は、中国語教育や中国語圏における言語政策、琉球の人々が学んだ中国語(官話)についても関心を広げています。これは私自身、大学時代に中国語を学び、良い師、仲間、学問という素晴らしい「縁」に恵まれたおかげで、現在も「中国語熱」が冷めずにいます。

イギリスの評論家ウィリアム・ハズリットの名言「さらにやれば、さらにできる!」のように、常に学科の学生、教員らと琉球・日本・アジアに関する様々なテーマを多角的に追究できることも本学科の特徴であり、最大の強みであると確信しています。

教員一覧

吉村 裕美	教 授	日本語学
當山 奈那	准教授	琉球語学
金城 ひろみ	准教授	中国語学・中国語教育学



ゼミ風景



卒業論文中間発表会

新城郁夫先生の個人研究



こんにちは。私は、日本の近現代文学そして沖縄の近現代文学を研究しています。
夏目漱石や森鴎外といったビッグネームの文学者はもちろんのこと、梶井基次郎や大江健三郎あるいは目取真俊や崎山多美といった日本そして沖縄の優れた文学者たちの表現を、歴史認識やジェンダー意識あるいは映画をはじめとする他の表現ジャンルとの比較の視点から考察しているところです。思想とか文化史といった分野も研究していますので、興味を持っていただけると嬉しいです。

教員一覧

大胡 太郎	教 授	日本古典文学
新城 郁夫	教 授	日本文学・沖縄文学
前城 淳子	准教授	琉球文学
平良 妙子	准教授	中国古典文学・琉球漢詩文
呉 世宗	准教授	朝鮮文学・在日朝鮮人文学



卒業パーティー



講義風景

大学には どのような 行事がありますか？

琉球大学の1年間は、2つの学期から成り立っています。前学期は4月1日から9月30日まで、後学期は10月1日から3月31日までです。前学期、後学期ともに授業は15週で行われ、その後、補講期間、試験期間となります。

新入生のためには、入学式前後にそれぞれの学科やプログラムごとのオリエンテーションがあり、教員からは学生生活全般に対する助言や科目履修等に関する説明があり、在学生からも様々なアドバイスがなされます。

オリエンテーションの後は、仮登録期間となり、各授業を受けて、履修する科目を選択し、自分の時間割を作成することとなります。

前学期が終了すると夏季休暇となり、琉大祭を経て、後学期に入ります。年末年始の冬季休暇を挟み、後学期終了後には春季休暇となります。

2019年度 年間スケジュール

4月1日	学年及び前学期開始	9月24日～9月26日	後学期仮登録
4月1日～4日	前学期仮登録	9月28日・29日	琉大祭
4月2日～4日	新入生オリエンテーション	10月1日	後学期開始・後学期授業開始
4月5日	入学式	12月4日	推薦入試
4月8日	前学期授業開始	12月25日～1月5日	冬季休業
5月22日	開学記念日	1月18日・19日	大学入試センター試験
6月1日	体育祭	2月3日～2月7日	後学期試験期間
6月23日	慰霊の日	2月15日～3月31日	春季休業
7月13日	オープンキャンパス	2月25日・26日	入学者選抜第二次試験(前期日程)
7月30日～8月5日	前学期試験期間	3月12日・13日	入学者選抜第二次試験(後期日程)
8月10日～9月30日	夏季休業	3月24日	卒業式

学費(令和元年度)

- 入学料……………282,000円
- 授業料……………535,800円(年額)
……………267,900円(半期)
- 入学試験検定料……………17,000円

入学料免除制度、授業料免除制度

【入学料免除制度】

本学に入学する者で、下記のいずれかに該当すると認められた場合、入学料の全額または半額が免除されます(要申請)。

※一定期間、入学料の徴収を猶予する制度もあります。

(1)経済的にきわめて厳しい状況にあり、入学料の納入が著しく困難である者。

(2)学資負担者が1年以内に死亡し、入学料の納入が著しく困難である者。

(3)風水害の災害を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難である者。

【授業料免除制度】

経済的な理由から授業料の納付が困難となり、学業優秀と認められた場合、年間授業料の全額または半額が免除されます(要申請)。

※授業料を一旦納付した場合、免除申請はできません。

また、人物および学業成績等が特に優秀であると認められた学生に向けて、年間授業料の全額または半額を免除する「学業成績(学術研究)優秀者制度」もあります。

奨学金

■日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、日本学生支援機構法に基づいて設立された国の育英奨学事業を行っている独立行政法人で、全国的規模で奨学生を採用しています。下記の第一種(無利息)、第二種(利息付)奨学金と併せて、「入学時特別増額貸与」を申請することも可能です。なお、奨学生は、貸与終了後6カ月経過したときから割賦の方法により返還しなければなりません。

●学部学生入学者の貸与月額

	貸与月額	
	自宅通学	自宅外通学
第一種奨学金 (無利息)	45,000円 (最高月額)	51,000円 (最高月額)
第二種奨学金 (有利子)	20,000円～120,000円 (10,000円単位)から選択	

日本学生支援機構ホームページ奨学金情報
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

学生寮

千原寮は本学キャンパスの宜野湾口(北口)近くにあり、鉄筋コンクリート5階建ての8棟からなる建物です。居室の面積、設備等の違いにより、一般棟、混住型棟、新混住型棟に分かれ、さらに一般棟はA、B、Cのブロックに分かれています。A、B、Cブロックの各階を1ユニットとして、共同生活を行います。

寄宿料(一般棟:月額4,300円、混住型棟:月額4,700円、新混住型棟:15,000円程度)、維持費(一般棟:月額4,400円、混住型棟:月額8,400円、新混住型棟:4,000円程度)、水道料、燃料費及び電気料を合わせて一般棟は月額10,000円～15,000円程度、混住型棟は月額15,000円～20,000円程度、新混住型棟は月額22,000円～25,000円程度になります。

千原寮駐車場貸与を受けている場合は、寄宿料に、月額1,000円が加算されます。

1ヶ月の生活費

生活費を食費、住居費などに分けてみると、県外や県内遠隔地の出身者の場合、食費に月1～3万円、住居費に月3～5万円ほどかかっています。娯楽や交際費などにどれだけ支出するかによって異なりますが、他の費用と合わせると月5～10万円を生活費としている学生が多いようです。

一方、自宅から通学する生徒の場合、学生にもよりますが、ガソリン代やバス代などの交通費に月5千円～2万円を支出している学生が多いようです。

なお、アパートに住む場合、本学全体では家賃月3～5万円に住む学生が最も多いようです。

学生の一例

※あくまでも一例であり、学年や生活スタイル等によって異なります。

- Aさん 女性** 2年次/県外/学生寮
アルバイト:月5万円 奨学金なし
食費:ミールカード利用
寮費:月1万円(光熱費含む)
娯楽費:月1万円
- Bさん 男性** 2年次/県外/アパート
アルバイト:7万円
住居費:4万5千円(光熱費込み)
食費:月2万円 ガソリン代:月6千円
- Cさん 女性** 3年次/県内離島/アパート
アルバイト:月5万円
奨学金あり(5万円) 住居費:月3万5千円
食費:月2万円 ガソリン代:月千円
- Dさん 男性** 4年次/本島南部/自宅
アルバイト:月7万 奨学金なし
食費:月3万円 交通費:月1万円
その他:3万円

交通手段

大学への交通手段としては、自動車、バス(高速バスを含む)、自動二輪(原付を含む)等があります。大学全体としては約6割の学生が自動車通勤しており、約3千台を収容できる駐車場があります。(駐車場の利用には、入構許可証の発行が必要です。入構許可証の発行には、2キロメートル以上の通学距離が必要です。)